

平成 25 年度 第 1 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 26 年 1 月 26 日（日） 14:00～17:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 25 名の内、出席 22 名、欠席 3 名
- ◇ 議 事

1. 平成 25 年度事業報告について

- ・ 各委員長より、事業報告について資料に基づき説明があった。ただし、セーフティアシスタント委員会、ゴールデンオールディズ委員会の委員長が欠席のため説明は次回行うこととした。
- ・ 高校選抜大会は、道外チームの試合が見られる重要な大会であるが、会場の運営の大部分を札幌山の手高校が行っている。全道の高校のための大会であることから各高校が運営に当たるように高校委員会で考えてほしいとの要請があった。
- ・ 雷雨による試合の対応について意見があった。大学選手権大会の試合で雷雨のため試合を中止して順延を決断したことは、試合のスケジュールなどから運営者の決断に迷いが生じやすいが、落雷事故を未然に防ぐことを優先した良い決断であったとの意見があった。今後は、試合の中断・中止の基準や中止による勝敗の取り決めなどについて検討していくことが確認された。
- ・ 大学選手権大会で合同チームが参加したが、試合だけでなく練習もやるなど発展させてほしいとの意見があった。

2. 平成 25 年度会計中間報告

- ・ 会計担当理事から、現時点までの会計状況、平成 25 年度登録者、平成 25 年度傷害状況について報告があった。
- ・ 現時点までの会計状況については、今年度予算は赤字予算を組んだが、登録人数の減少と、アルバータ州交流事業費・遠征費・国体代表ユニホーム費などの支出増加で当初予算を超える赤字になる見通しである。
- ・ 平成 25 年度の個人登録者数については、クラブ・社会人で大きく減少し全体として 144 名の減少となった。
- ・ 平成 25 年度の傷害報告では、傷害報告が 45 件ありそのうち重傷事故が 2 件発生したことが報告された。

3. 平成 26 年度事業予算

- ・ 会計担当理事より、平成 26 年度会計予算の策定について説明があった。
- ・ 予算申請が確定していない部分もあるが、これまでの途中経過では平成 25 年度を超える赤字予算となる。予算申請が全て揃っていないが、これまでの申請で大幅な赤字となるため次回の理事会に予算案を提出する。
- ・ また、予算案の策定は、理事長、副理事長及び会計担当理事に一任する要請があり承認された。

4. 平成 26 年度事業計画

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画案についての資料が示され各委員会と確

認した。次回理事会で事業計画を確定する予定であるので決定次第、庶務担当理事に報告することが要請された。

- ・平成 26 年度の北海道協会招待試合について、春の招待試合として 6 月 22 日に月寒ラグビー場で慶応義塾大学 VS 明治大学戦について提案があった。内容について開催要項（案）に基づき説明があり承認された。
- ・トップリーグ 2014-2015 の北海道開催試合について、9 月 7 日に月寒ラグビー場での開催を第 1 希望としていることが確認された。
- ・大学委員会より、春季大会を立ち上げることが報告された。大会内容や日程及び使用グラウンドなど詳細については今後の検討により各大会などとの調整により決定することが確認された。
- ・北海道大学ラグビー部創立 90 周年記念事業について説明があった。90 周年記念事業で試合も行うことが計画されており、グラウンドの使用については各大会及び月寒ラグビー場使用制限などとの調整を行うことが確認された。

5. 選手登録料及び北海道協会個人会費の値上げについて

- ・会計担当理事より、選手登録料及び北海道協会個人会費の値上げについて資料を基に説明があった。
- ・選手登録料（日本協会傷害見舞金制度保険料に充当）は、平成 26 年度に値上げすることが日本協会決定しており通達があった。
- ・北海道協会では、平成 13 年度にチーム会費・個人会費の見直しをしてから 13 年を経過している。この間でチーム登録数・個人登録数とも減少しており会費収入が大幅に減少した。このため極めて厳しい協会運営となっていることから会費の値上げを提案するとの説明があった。
- ・北海道協会における個人会費について提案の内容で値上げすることが承認された。

6. スポーツ安全保険について

- ・会計担当理事より、チームに登録していないレフリーのスポーツ安全保険加入について資料を基に説明があった。
- ・チーム登録している選手・スタッフ・レフリーは傷害見舞金制度に加入しているが、チームに登録をしていないレフリーが現状 45 名おり傷害見舞金制度の対象外となっている。今後はレフリーも傷害見舞金制度に加入できることを上部組織に要請していくが、当面は（公財）スポーツ安全協会が取り扱っているスポーツ安全保険に加入させることが提案された。
- ・保険料は 1,850 円となることから、傷害見舞金制度保険料に相当する 1,000 円を北海道協会が負担し、850 円を個人負担とする案が示され承認された。

7. RWC2019 について

- ・RWC2019 担当理事の副理事長より、開催都市選考に対する RWC2019 組織委員会と札幌市及び北海道との協議について説明があった。
- ・RWC2019 の開催都市選考の流れは、昨年 10 月に開催都市ガイドラインが開催を希望している地方自治体に配布され札幌市にも届けられた。12 月に RWC2019 組織委

員会の担当者が札幌市を訪れ、札幌市担当者と札幌ドームの視察・打合せを行い、翌日もガイドラインの確認などの打合せを行った。北海道協会も両日同行した。

- ・ また、北海道にも訪問して、札幌市及び合宿誘致を進めている地方自治体の動向、北海道としての考え方などの意見交換を行った。
- ・ 今後の試合開催会場選定プロセスとしては、1月に開催希望申請書の配布により地方自治体が検討を進め、10月立候補締切、11月申請書の審査・視察・個別協議などを行い、来年の1月末頃までに開催都市案を決定し3月には開催都市の正式決定となる。

8. 今後の会議日程について

- ・ 第2回理事会 3月23日（日）14：00～ （株）開発工営社会議室
- ・ 第3回理事会 4月20日（日）11：00～ （株）開発工営社会議室
- ・ 第1回評議員会 4月20日（日）13：30～ アスティ45ビル8階会議室

以上